

令和5年度 学校評価書 (年度)

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～全教育活動での「学美」を軸に～



9月29日(金)
合唱コンクールより
全校の思いを込めた
「時の旅人」
「大地讃頌」



令和6年2月1日(木)
大館市立北陽中学校



10月4日(水)～6日(金) 嘉手納中交流より
授業はもちろん、なべっこでも親睦を深めました。

令和5年度 学校評価一覧(年度)

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開	
今年度の重点	教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」「規律」を基にした「自己決定力」～全教育活動での「学美」を軸に～

学校名 (大館市立北陽中学校)

市教育 施策	学校 評価 項目	自己評価 A	学校運営 協議会評価	シート 担当	評価 指標	担 当	実践課題	主な取組	自己評価B
人間的 基礎力・大館市民 基礎力・大館市民 実践力の育成	I 運営・展開	良好	良好	教頭	1 組織の活性化	教頭	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	4
					2 地域の教育力の活用		(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学鍛(担)会による共通理解・共通実践の強化	
					3 適切な予算運用		(3) 情報発信と地域連携の推進	学校HPや学校報での情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	
	II 企画・調整	良好	良好	教務主任・ 研究主任	4 校務アジャストメント	企画部	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	4
					5 経営課題のクローズアップ		(5) 教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	
							(6) 組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画	
	III 主体的学習 態度・基本的 学習習慣	おおむね 良好	おおむね 良好	学習指導部長	6 「学びかた」の指導	学習指導部	(7) 「深い学び」の共通理解と具体的実践	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践	4
					7 確かな学力		(8) 全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	
							(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	
	IV 自主的・自 律的な生活、望まし い生活習慣	良好	良好	生徒指導部長	8 規律ある学校生活	生徒指導部	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	4
					9 心身の健康の保持増進		(11) 学びとキャリア発達	生徒の「？」や「！」を引き出す仕掛け	
					10 教育相談の充実		(12) 安心・安全で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	
	V 思いやりの 心、たくまし い心	良好	良好	特活指導部長	11 より良い集団生活を目指す学級・学年活動	特活指導部	(13) 健康的な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	4
					12 集団力を高める自主的・自立的諸活動		(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	
							(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	
						(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	
						(17) 仲間と心をつつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け	4	

V 評価

A 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント	
「ゆるぎない学校の創造」へ、旅路をともに歩む職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期	良好	良好	これだけの職員数であるが、主任会や指導部長会、学級(担)会などの実施により、職員間の縦横の連携がとれ、組織が機能している。主任会等の会議を放課後帯ではなく、ランチミーティングの形で勤務時間内に設定できていること、職員の年齢層の幅が大きい、実践すべきことの共通理解を図ったり、悩みを相談したりできる機会が設定されていることが評価できる。
	年度	良好	良好	「きわめて良好」に近い「良好」と高く評価する。教師も生徒も同じ方向を向いており、よりよい北陽中にしたいという思いが、評価アンケートやヒアリングからも伝わってくる。教師集団がチーム北陽として共通理解や横の連携を図っている。しかも、管理職への相談や的確に指示を得ることなどの縦の連携もしっかりしている組織である。開校10年目に向けたプロジェクトなど、生徒会やプロジェクトチームから具申を受けるなどボトムアップの企画・運営が定着している。ブログの発信を、タイムリーに、豊富な写真で学校や生徒の様子を伝えている。学校の様子がとてもよく分かる。生徒や教師と、保護者の意識に温度差があるものの、保護者ヒアリングでは、北陽中のよさを十分理解している。意識の差を埋める工夫は今後してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(1)(2)について: 教職員の指導力・専門性を高める人材育成・組織づくりとして、今年度は勤務評価面談の他に研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する面談も行い、職員が自らの研修ニーズと自分の強みや弱みを把握し、今後伸ばすべき能力や学校で果たすべき役割等を踏まえながら、主体的に学びながら職務を進めていこうとする意識をもてるようにしている。主任会や指導部長会、学級(担)会を、月行事に入れて計画し、各担当が見通しをもって会に参加できるようにしている。学校運営組織の核となる指導部長や各学年主任が情報を共有し、同一歩調で各分掌の仕事を進めることができた。また、学級(担)会も行うことで、学年の枠を超えて各学級担任同士が連携できるようにしている。今後は、情報共有だけでなくとどまらず、学校教育目標の具現化のために、どんな方向性で何をどのように取り組んでいくかを話題にして、さらに充実した会の運営の仕方を工夫していく。</p> <p>(3)について: 保護者、教職員アンケートの数値がわずかに減少している。学校報については、今年度から全戸配布から地域回覧・掲示に切り替えたが大きな混乱はなく、スムーズに移行することができた。地域活動推進については、地域防災活動の意義や地域とのつながりの大切さを共通理解した上で計画し、行うことができた。また、釈迦内地区防災学習会に97名の生徒が参加し、地域の方たちと関わり合いながら主体的に学ぶ姿が見られた。</p> <p>(1)(3)ともに、保護者アンケートの数値が3.2、3.5と低く、今後も学校報や学年報などを通じて地域活動推進の意義や成果を保護者に周知して理解を深めたい。</p> <p>(4)について: 市費による物品購入や修繕について、計画的に予算を請求して獲得し、適切に執行している。私費会計も、昨年度の実績や生徒の実情に応じて予算を配分して執行している。いずれも教育活動の効果を高めているという教職員の実感がある。会計処理については、昨年度末のPTA役員による監査結果を踏まえ、学校事務担当者を中心として適正に処理している。</p>			
	<p>(1)(2)について: 保護者、職員の数値とも、わずかではあるが上昇している。学校経営方針を職員が共通理解し、それぞれの分掌で教育目標の実現に向けた計画が立案し、実行してきている。実行後はアンケート等をもとに成果と課題を洗い出し、計画の見直しにつなげている。また、来年度開校10年目を迎えるにあたり、職員で学校経営ビジョンと記念事業それぞれのプロジェクトチームを作って協議を重ね、校長への具申を行った。指導部長会や主任会、学級(担)会を計画的に行い、共通理解、共通実践を行ってきており、前期よりも連携がスムーズに行われ、成果が上がってきているように感じている。</p> <p>(3)について: 生徒の数値はわずかに減少しているが、保護者の数値は上昇してきている。学校報の地域回覧・掲示は、後期も問題なく進めてきている。学校HPやブログについては、適宜更新を行っている。ブログについては、毎日数十名以上の閲覧数があり、多い時は240名を超えたこともあった。HPやブログが保護者や生徒の間に一定程度浸透してきているため、生徒会活動や委員会活動など、生徒の情報発信ツールとしても有効な活用方法を考えていきたい。地域連携活動としての防災学習・活動については、これまでの成果と課題を踏まえ、生徒会執行部や学級委員を中心に開校10年目以降の内容や進め方については協議を行っており、決定次第、地域や保護者に示すことにしている。</p> <p>(4)について: 職員の数値は横ばいではあるが4.2と高い数値を維持している。後期も、市費による物品購入や修繕について、計画的に予算を請求して獲得し、適切に執行している。私費会計も、昨年度の実績や生徒の実情に応じて予算を配分して執行している。自校の事務職員のみならず、学校事務共同実施グループによる月例相互点検等、複数の目によるチェック機能を生かして適正に処理している。</p>			
	<p>(1) チーム北陽の在り方</p> <p>□ 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。</p> <p>■ 教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。</p>			
	<p>(2) 校務部及び学年部の効果的な連携</p> <p>■ 指導部長会、主任会、学級(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。(R5 学級(担)会追加)</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成・組織づくり	4	4
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学級(担)会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 情報発信と地域活動の推進	学校HPや学校報による情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	4	4
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	教育活動の成果を高める予算配分・予算獲得と計画的な執行	4	4

[1]に関連するデータ]

[アンケート種別] ○生徒 □保護者 ■教職員
 [5段階評価] 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) チーム北陽の在り方	R5年度	R5前期	増減
□ 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。	3.4	3.2	+ 0.2
■ 教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。	4.3	4.2	+ 0.1

(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	R5年度	R5前期	増減
■ 指導部長会、主任会、学級(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。(R5 学級(担)会追加)	4.3	4.2	+ 0.1

[2]に関連するデータ]

(3) 諸通信の発行と地域活動の推進	R5年度	R5前期	増減
○ 学校報の地域回覧・掲示や学校HPの更新、防災活動などの地域活動によって、地域とのつながりが深まっていると思うか。(R5 HP追加)	3.9	4	- 0.1
□ 学校報地域回覧・掲示や学校HPの更新、防災活動などの地域活動によって地域とのつながりが強化されていると感じるか。(R5 HP追加)	3.8	3.5	+ 0.3
■ 学校報や学校HPでの情報発信による情報発信と地域活動推進によって地域とのつながりが強化されているか。(R5 HP追加)	4.4	4.4	± 0.0

[3]に関連するデータ]

(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	R5年度	R5前期	増減
■ 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。	4.2	4.2	± 0.0

ア 学校運営の状況

II 企画・調整

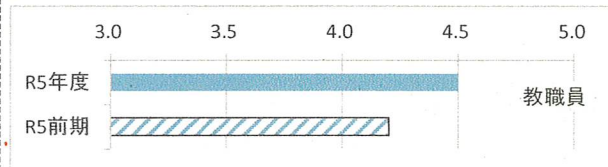
学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	良好	全体的に見ると、良好とも判断できたが、学美ツアーの成果が評価書の内容からは見えなかったため、おおむね良好という評価になった。様々な計画の早めの提案、ミニ研修会、学美ツアーは良いアイデアなので、今後の取組の成果を期待している。
	年度	良好	良好	何のための行事なのか、活動の目的は何かを教師間で十分共通理解して行事を企画している。それを生徒も意識しており、行事ごとに生徒の成長が見られている。生徒にとっては、先輩の学びの姿が一番のお手本であり、刺激になっている。学美ツアーの項目は、前期より生徒や教師の評価が高まっている。継続していくことでの成果、これからの発展が楽しみである。
自己評価の概要と学校の改善策	(5)について：昨年度前期より数値が上がっている。定期的なランチミーティングや週案の早めの提案などを通して、多くの先生方が日々の活動や行事に対して見通しをもつことができたのではないかと考えられる。後期も継続し、先を見通した提案を行っていく。 (6)について：新しい試みとして、生徒が行事のねらいや目指す姿を共有できる全校集会を行った。校務部や学年部と連携することで、生徒の意識を高める取組ができています。保護者は昨年度の学年と比較すると評価が上がっている。通信やブログ等で子どもの頑張る姿や成長していく姿を発信していることが、少しずつ保護者にも伝わってきている。今後も通信による発信や、行事に足を運んでもらえるような内容を生徒と共に考えていく。 (7)について：4月に、生徒を生き生きさせている教師の実際の授業を全職員で参観する機会を設けたことで、北陽の授業スタイルや見方・考え方を考えるきっかけづくりができた。普段は個々の取組に任せているため、今後は疑問や悩みについて気軽に相談できるミニ研修会を適宜設けていく。 (8)について：7回の指定訪問、その他の視察、教育交流等、今年度も研修する機会に恵まれている。教科や学年関係なく全職員で事前・事後の研修を重ねていく。また、今年度は、教師間だけでなく、生徒間の学美ツアーの充実も目指している。一学期は学級や学年の枠を超えて、運動会までの活動、定期テストに向けた学習計画の授業等を見合った。今後は、各教科の授業とその他の教育活動の往還を意識して、学美ツアーを実施していく。			
	(5)(6)について：後期は職員間のランチミーティング(指導部長会、主任会、学級会)だけでなく、学校行事に関わるリーダー(生徒)を交えたランチミーティングを行った。限られた時間の中で、何をどこまで仕上げるかを生徒と職員で共通理解し、後輩たちに伝えながら活動を行うことができた。数値からも、生徒たちにとって自分たちで行事を創り上げることができたという達成感につながったことがうかがえる。今後は開校10年を節目に、行事や諸活動の意義やねらいを再確認し、内容や取組を生徒と共に考えていきたい。 (7)(8)について：指定訪問や視察、「学校経営ビジョンプロジェクト」等とリンクさせ、その都度、研究の成果や課題、今後の方向性について共通理解を図った。また、普段の相談や提案を重要な研修の場として捉え、短時間のミニ研修会を重ねた。さらに、北陽中祭に係る活動や教科の授業等を見合う生徒間の学美ツアーを実施した。事前・事後の指導を含めた生徒間の学美ツアーを通して教師の学びにもつながった。今後は、手応えのあったものをただ継続するのではなく、その意義を共有したり、生徒の主体性につながるか、実態に合っているかを検討しながら、吟味した取組を積み重ねていく。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理 (6)心を動かす学校行事の工夫	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理 各校務部・各学年部と連携し、心を育てる行事の企画	4	4
5 経営課題のクローズアップ	(7)「深い学び」の共通理解と具体的実践 (8)全教育活動での「学美」の充実	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践 教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	3	4

○学校評価アンケートの数値から (○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい~3:おおむねよい~1:不十分]

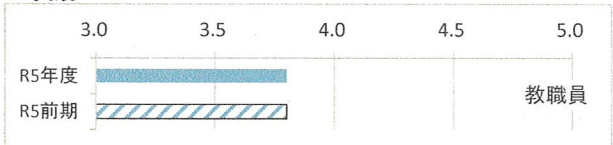
[4(5)に関連するデータ]

■教育活動を支える見通しある提案、学校諸帳簿作成・管理



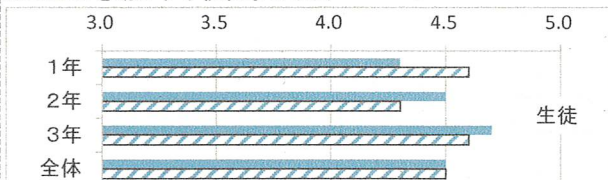
[4(7)に関連するデータ]

■教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践



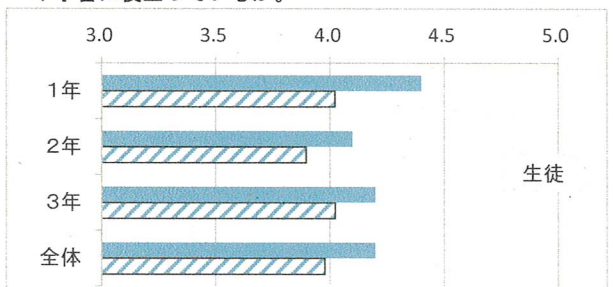
[4(6)に関連するデータ] 上段:年度 下段:前期

○□■心を動かす学校行事の企画

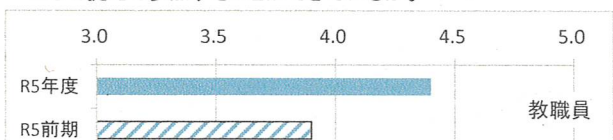
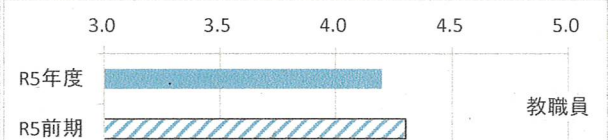


[5(8)に関連するデータ]

○学校行事や授業等で学美ツアーが行われ、自分の学校生活や学習に役立っているか。



■教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアーが計画され、自分事として捉えて参加することができるか。



イ 生徒の状況

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	先生方のよりよい授業を創り上げようとする姿勢に統一感を感じた。授業参観では、北陽中学生の学びに向かう姿勢がきちんとできていた。教職員へのヒアリングでは、生徒の興味関心を高める手立てを講じることができているが、確かな学力の定着に向けた手立てに課題があると捉えている。教職員が学力保障への意識が高く、良好に非常に近いおおむね良好という評価とした。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	ヒアリングの生徒は、家庭学習や分からない勉強を自力で、または、教師に聞いて解決している。しかし、一部の生徒の正解で授業が進み、分からないと言えない生徒もいると思う。先生たちは、一人一人の理解度などの差を日々、細やかに把握していることが分かったが、これからも教材や授業の工夫で、分からない子を置き去りにしない指導をお願いしたい。
自己評価の概要と学校の改善策	(9)について:年度当初に「学習の約束」を共通理解するとともに、授業で学んだ事柄と学校や地域の行事との往還を、日頃から先生方が意識して指導していることが、生徒の数値に反映されていると考える。こうした「学びの往還」を今後も図ることができるよう、学習委員会を活用して家庭学習の充実を試みたり、短学活で効果的な学習の仕方を紹介し合ったりするなど、自分事として考える機会を適宜設定していく。			
	(10)について:50分ものさして授業の見直しをもたせ、生徒の疑問や気付きを生かした授業づくりを心掛けてきた。また、個で考える時間や話し合う形態(ペア・グループ・全体)、習熟度別コースを生徒にさせるなど、自ら学びに向かう仕掛けも随時行ってきた。今後は、授業で学んだことを確かな学力として定着させるために、学習課題の吟味や習得した内容を確認められるまとめの方法など、日々の実践の精度を高めるとともに、年度末までに育てたい生徒の姿を見通して計画的に指導していきたい。			
	(11)について:各教科の特性に応じた振り返りを行い、次時の授業で紹介するなど個々の学びを認めたり全体に広めたりする取組をしてきた。今後は、まとめや振り返りが適切に実施されているか学習指導部を中心に定期的に情報交換していく。また、教室間に掲示しているノート紹介コーナーに、振り返りカードを掲示するなど、よりよいまとめや振り返りを生徒間で共有できる機会も設定していきたい。			
	(9)について:帰りの会前のドリルタイムで、定期テスト前にはテスト勉強の仕方について意見交流をしたり、定期テスト後には全体的に正答率の低かった問題に特化して補充学習をしたりした。また、家庭学習の取り組み方について、1・2年生が3年生に質問し、3年生が答える活動も行った。今後は、3年生は受験に向けて、1・2年生はこれまでの学習を定着させるために、学校で学んだことと家庭学習で取り組む内容との往還を図るように、教科に応じた学習方法や問題の選び方などを仕掛けていきたい。			
	(10)について:7回の指定訪問を通して、生徒の問いを引き出し、課題意識をもたせる学習展開の工夫を全職員で心掛けてきた。また、「規律」と「共感」は、教師が求め続けていかないと、生徒の必要感も薄れてしまうという緊張感をもって日々の実践にあたってきた。今後は、授業だけではなく、卒業式など学校行事との往還を意識して、何のために学んでいるのか、何につながるのか、生徒に問い掛けていきたい。			
(11)について:ICTを活用して、振り返りを共有したり、授業の導入や終末に活用したりしてきた。また、学びの連続性や往還を生徒が意識できるように、振り返りの視点を教科の特性に応じて工夫してきた。今後は、50分の授業の中で、まとめ・振り返りが適切に行われるように、タイムマネジメントを意識した授業展開の工夫を全職員で実践していきたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	3	3
7 確かな学力	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	3	4
		生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け		
	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

[6に関連するデータ]

(9) 主体的学習態度の育成

○学ぶ意義や必要性を理解して、自らが学びに向かっていますか。(9教科平均)	R5年度	R5前期	増減
	4.1	4.2	-0.1
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。	3.2	3.2	±0.0
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。	4	3.6	+0.4

○学ぶ意義や必要性を理解して、自らが学びに向かっていますか。(9教科平均)	R5年度	R5前期	増減
	4.1	4.2	-0.1
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。	3.2	3.2	±0.0
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。	4	3.6	+0.4

[7に関連するデータ]

(10) 授業の充実 共感と規律をベースにした授業づくり

○授業では、「共感」と「規律」が大事にされ、「自己決定の場」が設定されていますか。(9教科平均)	R5年度	R5前期	増減
	4.3	4.4	-0.1
■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。	4.1	3.8	+0.3

○授業では、「共感」と「規律」が大事にされ、「自己決定の場」が設定されていますか。(9教科平均)	R5年度	R5前期	増減
	4.3	4.4	-0.1
■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。	4.1	3.8	+0.3

(10) 授業の充実 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け

○学びが深まる疑問や驚き、気付きがありますか。(9教科平均)	4.1	4.2	-0.1
○生徒の問いや疑問が授業に生かされていると感じますか。(9教科平均)	4.2	4.3	-0.1
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。	3.4	3.3	+0.1
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。	3.9	3.7	+0.2

○学びが深まる疑問や驚き、気付きがありますか。(9教科平均)	4.1	4.2	-0.1
○生徒の問いや疑問が授業に生かされていると感じますか。(9教科平均)	4.2	4.3	-0.1
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。	3.4	3.3	+0.1
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。	3.9	3.7	+0.2

(11) 学びとキャリア発達

○まとめと振り返りが実施されていますか。(9教科平均)	4.3	4.4	-0.1
■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。	3.8	3.5	+0.3

○まとめと振り返りが実施されていますか。(9教科平均)	4.3	4.4	-0.1
■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。	3.8	3.5	+0.3

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況		自己評価A		学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしがた」の指導に努めている。	前期	良好	良好		校内では、生徒が自主的な生活・活動ができています。保護者へのヒアリングでは、家庭学習に向かう姿勢ができていないという声が聞かれた。小学校運動会ボランティアや子どもハローワークへの積極的な参加により、北陽中生の鍛えてきている振舞いが地域の中で発揮され、評価されている。学校生活と地域貢献活動との往還が子ども姿となって現れてきている。
	年度	良好	良好		学校が目指す「暮らしがた」は、生徒に伝わっている。生活習慣や感染症予防もよく対応している。保健だよりやシェアハビで、こまめに啓発したり、情報発信方法を工夫したりできるように仕掛けていきたい。危機回避能力育成と事故防止対策については、避難訓練や地域防災会議(下記②参照)などを通して防災への意識付けを図ってきた。災害だけでなく、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう集会等で呼び掛けを行い、継続して指導していきたい。

自己評価の概要と学校の改善策

(12)について:1学期末に、生活向上委員会がアンケート(下記①参照)を実施し、学校生活を振り返った。きまりを守れていないことやルールが曖昧であることなどの回答があった。2学期以降は生徒同士によるきまりの見直しを行ったり、学校のルールについて生徒自身が気づき考えたりできるように仕掛けていきたい。危機回避能力育成と事故防止対策については、避難訓練や地域防災会議(下記②参照)などを通して防災への意識付けを図ってきた。災害だけでなく、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう集会等で呼び掛けを行い、継続して指導していきたい。

(13)について:新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、マスク着用など対策は個人の判断となった。保健委員会が感染対策ポスター(下記③参照)を掲示したり、昼の放送で全校に呼び掛けをしたりするなど、生徒が主体的に活動できるよう教師がサポート側に回って働きかけた。また、6月にメディアに関する実態調査を行い、メディアコントロールへの意識付けを図った。家庭への働きかけはもちろんのこと、生徒が自らの生活習慣を見直し自分を律していけるよう、今後も粘り強く指導していきたい。

(14)について:今年度も5月に教育相談(下記④参照)を実施し、生徒理解に努めた。7月に行われた指定訪問研究会(下記⑤参照)では、生徒の安全・安心な生活を目指す手立てについて、全職員で理解を深めることができた。今後も未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや些細なことでも全職員で共有できるよう組織的に対応していきたい。また校内だけでなく、チーム学校として関係機関と連携しながら、一人たりとも置き去りにしない教育を目指していきたい。

(12)について:今年度2回目となる花岡地区の「おはよう作戦」(下記①参照)には、地区外の生徒も数名参加し、地域のために活動することができた。生活向上委員会が中心となり、落ち葉拾いや除雪(下記②参照)を行い、通学路や校地内の整備に協力してきた。今年度は熊の目撃情報が相次ぎ、部活動ごとに集団下校を実施したり、教職員による巡回等を行ったりして事故防止対策に努めると同時に、生徒に対しても意識付けを図ってきた。2学期末に、生活向上委員会がアンケート(下記③参照)を実施し、学校生活を振り返った。学校のきまりについて、3学期に見直しを図り、次年度の「暮らしがた」へつなげた。

(13)について:感染症や防寒対策のために、委員会を通して消毒ボランティアを行ったり、昼の放送で全校に呼び掛けたりしてきた。また、悩みや不安を一人で抱え込まないようにするために、生徒同士がお互いの心に寄り添う取り組みとして、保健委員による「みんなでシェアハビ」(下記④参照)を実施した。今後も生徒が自らの生活習慣を見直し自分を律することができるよう、主体的な活動を促すような働きかけを継続していく。

(14)について:今年度2回目となる教育相談を10月に実施し、生徒理解に努めた。関係機関と連携しながら、組織的な指導・支援を心掛け、日々の生徒観察やアンケートの活用(下記⑤参照)など多面的な生徒理解を図り、個別対応にあたってきた。不登校傾向の生徒については、スクールカウンセラーと面談する機会を設けたり、別室での個別学習を進めたりするなど、生徒の実態に応じて対応してきた。今後もチーム学校として、高校進学や次の学年に向けて、生徒が自らの目標を自己決定できるような支援体制を整え、一人一人が活躍できる場を設定し自己有用感を高められるような働きかけを継続していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしがた」の指導	生徒による「暮らしがた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	4
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	4	4
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	4

(○生徒 □保護者 ■教職員)

【8に関連するデータ】 ※5段階評価【5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分】

(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしがた」の指導

- 北陽中生自身が「暮らしがた」を見直し、規律ある学校生活の充実がはかられていますか。
- 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。
- 安心・安全な生活のための事故防止対策が取られ、お子さんに危機回避能力が育っていると感じますか。
- 生徒によって「暮らしがた」が見直しされ充実が図られているか。
- 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が取られているか。

R5年度	R5前期	増減
3.8	4.0	- 0.2
4.2	4.2	± 0.0
3.7	3.6	+ 0.1
3.9	3.8	+ 0.1
4.3	4.1	+ 0.2

【9に関連するデータ】

(13) 健全な生活習慣の育成

- 感染症予防対策を実行し、望ましい生活習慣が身に付いていますか。
- 学校で感染症予防対策が取られ、お子さんに安定した生活習慣が身に付いていると感じますか。
- 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。

R5年度	R5前期	増減
3.9	4.2	- 0.3
4.0	3.9	+ 0.1
4.5	4.1	+ 0.4

【10に関連するデータ】

(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解

- 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれますか。
- 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R5年度	R5前期	増減
4.4	4.4	± 0.0
4.4	4.0	+ 0.4

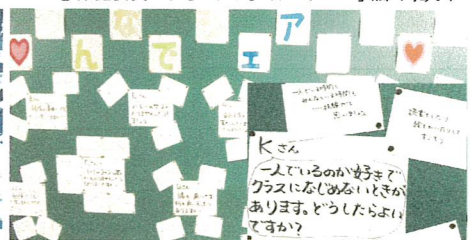
①花岡地区「おはよう作戦」



②生活向上委員会による「除雪ボランティア」



④保健委員による「みんなでシェアハビ」(廊下掲示)



③生活向上委員会による「学校のきまり見直しアンケート」

「学校のきまり」について、改善した方がよいと思うことがあれば教えてください。
髪型の校則は改善した方がよいと思う。
肩にかかるのは少し良くないがそれ以外の髪型は良いと思う。
「学校のきまり」について、改善した方がよいと思うことがあれば教えてください。
特別のことに何かきまりがあるなら改善した方がよいと思う。
「学校のきまり」について、改善した方がよいと思うことがあれば教えてください。
保健委員がシェアハビでみんなが長いときが何となくたのしみながら何か改善したいところはないかと思ってる。

⑤諸調査・アンケートの活用

調査項目	調査結果	活用内容
1. 生活向上委員会による「学校のきまり見直しアンケート」	髪型の校則は改善した方がよいと思う。	髪型に関する校則の改善を検討する。
2. 保健委員による「みんなでシェアハビ」	みんなが長いときが何となくたのしみながら何か改善したいところはないかと思ってる。	共有の時間を有効活用するための工夫を行う。

アンケート結果を分析し、気になる生徒をピックアップし、個別に対応したり全体指導に生かしたりする。

イ 生徒の状況

V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつなぐし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	前期	良好	良好	集団としての振舞いは北陽中一番の強みである。様々な学校行事での一体感や協働性は評価できる。アンケートの結果から、生徒たち自身も高く評価しているのが見える。今後も、北陽中祭や嘉手納町交流などの学校行事を通して、さらに集団としての振舞いを鍛えていってほしい。
	年度	良好	良好	保護者に我が子の学校での姿が見えていないことが評価につながっているのではないかと見ると、行事では生徒も先生も目の色を変えて、取り組んでいると感じる。そこが保護者には伝わりにくい。その意味でも、ブログを見る人を増やすなどの伝える努力を惜しまないでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(15)について: 学級の短学活で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応したり、学年で班対抗のクイズをしたりして、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面を設定している。学級活動における話し合い活動においても、互いに自分の考えを発表し合う中で、互いの考えを尊重し合いながらよりよい考えにしていこうとする姿が見られる。今後は学校行事や授業など他の教育活動においても往還を意識し、学級活動で培われた個のよさを存分に発揮できる場や互いのよさを認め合う場面を意図的に設定していきたい。</p> <p>(16)について: 委員会などの生徒会活動を全体的に見ると生徒それぞれが創意工夫を凝らし、それを教師がサポートする形で行うことができていた。その反面、活動に積極的に取り組む生徒とそうでない生徒との差が大きいことが課題であった。生徒の主体的な活動を促すために、活動の目的や意義を再確認するとともに、活動をやり遂げたときの達成感や成就感を味わわせるように、北陽中祭等の学校行事での活動の機会を利用して生徒に仕掛けていく。</p> <p>(17)について: 運動会では、事前に決起集会を行った。「生徒に主体性をもたせること」、「生徒も職員も活動に見通しをもつこと」という2つのねらいをもとに計画した。その結果、各学級の中で上手に役割分担がなされ、各リーダーを中心に全力で取り組む姿が見られ、活動後の達成感や充実感も大きかった。2学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けても、生徒の意欲を喚起し、ねらいを共通理解するための集会を行っている。</p>			
	<p>(15)について: 行事の際に決起集会を開き、全校や学級で一つのことに向かっていこうとする気持ちづくりを行ったことで、全力で取り組む生徒の姿が多く見られた。行事を通して学んだことを他の場面でどのように生かすかを教師も生徒もさらに考えられるようにしたい。短学活では、各学級で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応すること、学年で班対抗のクイズをすることを通して、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面の設定を継続している。各学級でどのような取組をしているかを共有する場面を設定して、今後も様々な取組を考えていきたい。</p>			
	<p>(16)(17)について: 生徒会活動や学校祭の準備で、3年生が中心となって自発的に活動する場面が多く見られ、1、2年生も3年生を支えながら一つの目標に向かっていくことができた。生徒会活動は後期スタート後に、各委員長を集めてミーティングを行い、現状の課題を把握し、今後の活動の見通しをもたせたことで、スムーズな活動につながった。自己評価Bの部分は前期と年度の生徒アンケート結果から、高い数値を維持しており、生徒たちは、行事や生徒会活動に自主的に取り組んでいることを実感できていると考えられるため4とした。生徒たちは感動や達成感を実感しているが、保護者の数値には反映されていないため、子どもたちの活動の様子や成長が伝わるような手段を考えていきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活を旨とする学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	4
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	4
	(17) 仲間と心をつなぐし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11]に関連するデータ ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり

<input type="radio"/> 個のよさが発揮され、仲間と協働して取り組めるような学級活動が行われていましたか。	R5年度	R5前期	増減
<input checked="" type="checkbox"/> 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動が実践されていたか。	4.1	4.2	-0.1
	4.1	3.9	+0.2

[12]に関連するデータ

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実

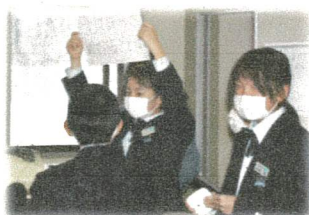
<input type="radio"/> 集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。	R5年度	R5前期	増減
<input type="checkbox"/> 生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。	4.1	4.2	-0.1
<input checked="" type="checkbox"/> 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。	3.6	3.5	+0.1
	3.9	3.7	+0.2

(17) 仲間と心をつなぐし、目標に向かう「挑みかた」の指導

<input type="checkbox"/> 北陽中祭・合唱コンクールでは、仲間と心をつなぐし目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。	R5年度	R5前期	増減
<input type="checkbox"/> 学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。	4.5	4.5	±0.0
<input checked="" type="checkbox"/> 三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。	3.6	3.5	+0.1
	4.2	4.2	±0.0



新リーダーを決める投票



学期末の学年集会



仲間を全力で応援した激励会



心を合わせて創り上げた合唱

令和5年度 学校評価一覧(年度)				
ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開				
今年度の重点	教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」と「規律」を基にした「自己決定力」～全教育活動での「学美」を軸に			学校名 (大館市立北陽中学校)
学校評価項目	担当	自己評価A	学校関係者評価	学校評価項目別のコメント
I 運営・展開	教頭	良好	良好	「きわめて良好」に近い「良好」と高く評価する。教師も生徒も同じ方向を向いており、よりよい北陽中にしたいという思いが、評価アンケートやヒアリングからも伝わってくる。教師集団がチーム北陽として共通理解や横の連携を図っている。しかも、管理職への相談や的確に指示を得ることなどの縦の連携もしっかりしている組織である。開校10年目に向けたプロジェクトなど、生徒会やプロジェクトチームから具申を受けるなどボトムアップの企画・運営が定着している。ブログの発信を、タイムリーに、豊富な写真で学校や生徒の様子を伝えている。学校の様子がとてもよく分かる。生徒や教師と、保護者の意識に温度差があるものの、保護者ヒアリングでは、北陽中のよさを十分理解している。意識の差を埋める工夫は今後してほしい。
II 企画・調整	教務主任・研究主任	良好	良好	何のための行事なのか、活動の目的は何かを教師間で十分共通理解して行事を企画している。それを生徒も意識しており、行事ごとに生徒の成長が見られている。生徒にとっては、先輩の学びの姿が一番のお手本であり、刺激になっている。学美ツアーの項目は、前期より生徒や教師の評価が高まっている。継続していくことでの成果、これからの発展が楽しみである。
III 主体的学習態度・基本的学習習慣	学習指導部長	おおむね良好	おおむね良好	ヒアリングの生徒は、家庭学習や分からない勉強を自力で、または、教師に聞いて解決している。しかし、一部の生徒の正解で授業が進み、分からないと言えない生徒もいると思う。先生たちは、一人一人の理解度などの差を日々、細やかに把握していることが分かったが、これからは教材や授業の工夫で、分からない子を置き去りにしない指導をお願いしたい。
IV 自主的・自律的な生活習慣	生徒指導部長	良好	良好	学校が目指す「暮らしかた」は、生徒に伝わっている。生活習慣や感染症予防もよく対応している。保健だよりやシェアハピで、こまめに啓発したり、情報発信方法を工夫したりしている。アンケートの自由記述からも、保護者の声に真摯に向き合っている姿勢が伝わってくる。生徒指導面で様々な生徒がいるが、よく支えている。生徒は、教師が親身になって相談に乗ってくれると思っており、教師への信頼感もある。
V 思いやりの心、たくましい心	特活指導部長	良好	良好	保護者に我が子の学校での姿が見えていないことが評価につながっているのではないかと。外部から見ると、行事では生徒も先生も目の色を変えて、取り組んでいると感じる。そこが保護者には伝わりにくい。その意味でも、ブログを見る人を増やすなどの伝える努力を惜しまないでほしい。
<p><全体コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館での合唱披露はアンコールが出るなど、感動のステージだった。地域行事を通して成長してきている生徒の姿が地域に元気をもたらしている。 ・地域における北陽中の活躍への評価の高さを、何らかの形で伝えていきたいものである。 ・生徒と教師が、一つの方向性に向かっていてすごい。また、よい意味での心の近さ、親しみのある良い関係性が基盤にある。ヒアリングからも、生徒が先生に信頼と尊敬の気持ちをもっていることが伝わった。日々、先生方が丁寧に、熱意をもって授業づくりや教育相談をしていることを生徒はしっかりと見て、感じている。 ・生徒たちを小学生の頃から見ているが、3年生の学びの姿に、こんなにもなるのかと驚き。教師のプロの力のすごさに感心させられた。 ・本日の授業での姿に、評価のすべてが体現されていた。生徒は、ヒアリングでどんな質問にも自分の言葉できちんと答えられていた。国語の授業での発言力、考えをしっかりとって、自分の言葉で表現し伝えられる。素晴らしい学びの姿は、先生方の指導の賜物である。 ・学校のきまりも自分たちで見直していく、募金活動を行うなど、まさに北陽中生らしい主体的な活動が展開されている。自分たちで考えて進めていく行動力が素晴らしい。ぜひ、この校風を継続し、生徒たちもこのまま成長してほしい。 ・学校や生徒の様子はブログやメールで配信されており、学年だよりのメールは、保護者がいつでもどこでも何度でも読むことができると好評だった。時代に合った積極的な情報発信に今後も努めていきたい。 				